

**宿題も、
除草作業も、
後回しにすると
ツケがくる。**

スペリヒュ はザクサ液剤で、しっかり防除!!

しつこい
雑草に!!

非選択性茎葉処理除草剤

ザクサ
液剤

夏のしぶとい雑草、 スベリヒユは繁茂する前に徹底防除!!

はや大暑を迎え、暑さもいっそう厳しくなってきましたが、さんさんと照る太陽が作物を成長させる時期となりました。そんな夏の時期にも迷惑な雑草はどんどん大きくなっています。

この時期に皆さんを特に悩ませている雑草が、夏の広葉雑草の代表格、スベリヒユです。

スベリヒユの名前の由来は、葉がつるつるしており、食料として茹でるとぬるぬるするので「滑り苺」と言われるようになりました。そんなスベリヒユも農業においては畑作の害草として知られ、名前の通りつるつるしているために薬剤が付きにくく、除草が困難な強害雑草です。

そんな夏の問題雑草、スベリヒユはザクサ液剤で徹底防除しましょう。

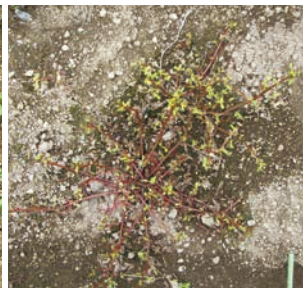
防除の ポイント

- ザクサ100～200倍液を株全体にしっかり散布しましょう。
- あまり繁茂しない早い時期の散布がより効果的です。

■ スベリヒユ(ザクサ200倍での除草効果)



散布前



散布3日後



散布7日後



散布14日後

● スベリヒユ

- スベリヒユ科の一年生雑草で、日当たりの良い道ばた、公園、庭先、畑地などに自然に生えます。世界の熱帯から温帯地域まで幅広く分布し、日本全土で確認されています。赤紫色、多肉質で円柱形の茎が地上をはって分枝し、被害を拡大させます。葉は長円形の肉質で光沢があります。6～9月に、枝先に黄色の小さな花をつけ、日光を受けて開きます。
- あまりに繁茂しすぎると除草が大変になるため、早めの防除がおすすめです。



農耕地まわりの クズも素早く枯らします!!

畦畔、畑地、道路わきなどに生えるクズは、つるを伸ばして広い範囲で根を下ろし、繁茂力が強く低木林を覆い尽くすほど成長が早い雑草のため、その成長を妨げてしまいます。また荒地等ではたちまち繁茂して景観を損ないます。成長が早いので発見後素早い防除が重要となります。ザクサ液剤はクズを素早く枯らし、抑草効果も長いのでつるの再生を妨ぎ、長期間発生を抑えます。

枯らした状態を長く保つ

■ ザクサ液剤の除草効果

【処理薬量】 500mℓ/100ℓ/10a(200倍)



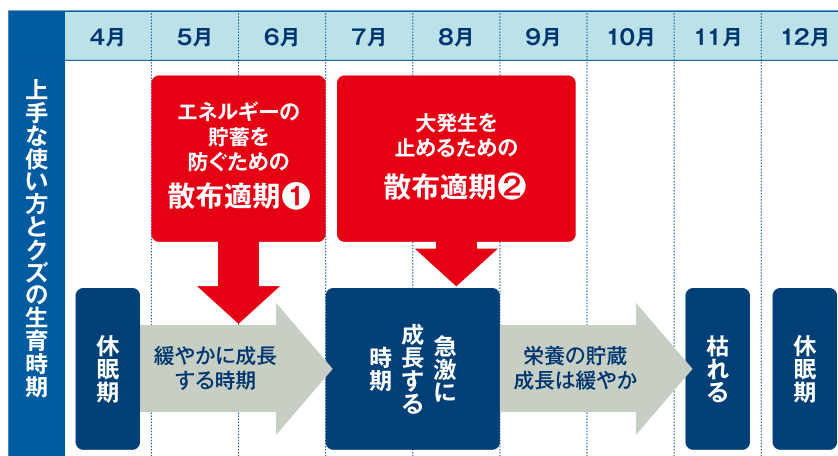
散布前



散布12日後

おすすめの散布適期と上手な使い方

クズは繁茂した後、放置していると木質化してしまい除草が困難になります。花芽の成長と翌年成長するためのエネルギーの貯蓄を妨害することで翌年の発生量を減らします。大群生する前に散布して、10月まで抑えましょう。



主官部分にも
しっかりと
散布すると
効果的です。

ハウス内の除草にも ザクサ液剤はお勧めです!

- ザクサ液剤はビニールハウス内の雑草にも安心してご使用いただけます。
- 気密性の高いハウス内で散布しても、散布液のガス化による作物への影響は確認されていません*。
- ハウス内でのドリフトの場合、付着部位への薬害が発生するものの、株全体に薬害が及ぶことはありませんが、作物に飛散しないよう注意しましょう。

■ハウス内での飛散(ドリフト)による影響

株元~下位葉(草丈)	300mℓ/ 10aの5%	500mℓ/ 10aの5%
メロン(60cm)	◎	○
キャベツ(ポット20~30cm)	○	○

◎: 薬害なし ○: 葉の若干の薬害症状(黄化・褐変等)生育障害なし

[試験場所]2006、7年 明治製菓(株) 社内試験
[所定薬量]300mℓ、500mℓ/10aの5%(下位葉に塗布)
[調査日]塗布後14日

*蒸気圧 25℃:<1.2×10⁻⁵Pa 50℃:<1.2×10⁻⁵Pa

ザクサ液剤はメロンの 除草管理を応援しています!

JAきょうわ らいでんメロン生産組合
西本峯雄 組合長

JAきょうわは、北海道後志地区に位置し、メロン、スイカ、馬鈴薯、水稻、スイートコーンと幅広く栽培しています。らいでんブランドの農産物は温暖な気候に恵まれ、質・量ともに皆様に安心してお届けできるものばかりです。



取材
協力

JAきょうわ 営農資材部 生産資材課

〒045-0122 北海道岩内郡共和町発足190 TEL 0135-74-3011
<http://www.ja-kyouwa.jp/>



共和町メロン集出荷選果施設



全国に出荷される「らいでんメロン」
◀ 農林水産大臣賞受賞 ▶



選果施設の様子